



平成30年度 目指す子供像と具現化に向けた取組

本校は、「かかわり合い、磨き合い、輝き合う、笑顔あふれる子供」の育成を目指します！！

学力向上

基礎・基本の定着
学びの充実を図ります



- 基礎的・基本的な知識、技能の習得と思考力・判断力・表現力を高めるため、教材開発・指導方法の工夫・改善に校内研究はもとより、OJTやブロック会議、週の指導計画を活用して児童に1時間ごとに身に付けさせたい「ねらい」を明確にした指導に努めます。
- 今年度から、5・6年生は外国語、3・4年生は外国語活動を先行実施しています。そのため、土曜授業日を設定し、授業の充実を図っていきます。
- 2020年東京オリンピックに向け、ボランティアマインド、豊かな国際感覚の醸成を目指して、授業、オリパラ集会等を実施していきます。

健全育成

明るく楽しい
学校を目指します



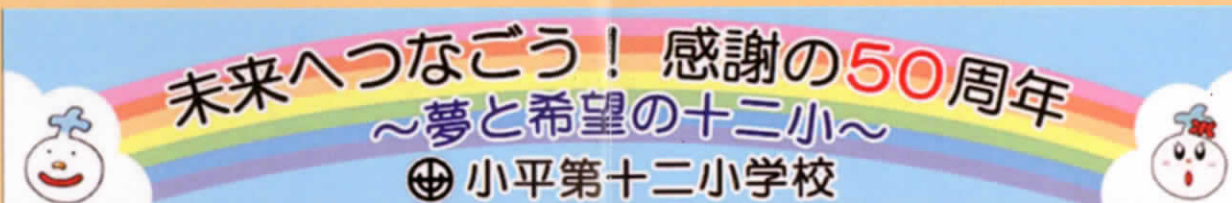
- 「十二小スタンダード」をもとに、全校一致で、基本的な生活習慣や授業規律の定着を図ります。
- 毎月「あいさつ運動週間」「小平五中校区あいさつデー」に取り組み、豊かにかかわり合う子の育成を目指します。
- 全校児童のめあてや役割を明示した「マイチャレンジカード」を一斉に掲示し、自尊感情や所属感を高めます。

体力向上

元気でたくましい
心と体を育てます



- 「オリンピック・パラリンピック教育推進校」として、「明るく元気でたくましい子」の育成のために、体力向上・健康教育の取組を充実します。
- 東京都の推進する一校一取組としての「長縄チャレンジ」に通年で取り組むほか、「体力向上旬間(外遊び・マラソン・縄跳び)」や「十二小ジョギング大会」、「コーディネーショントレーニング」などを通して、運動の多様化・日常化、意欲・関心の向上を図ります。
- 食育指導や保健指導などを強化し、児童の好ましい成長を促します。



～ 開校50周年に向けて ～

- 代表委員会を中心に、開校50周年に向けて、スローガンを考え、記念式典に向けて、学校全体を盛り上げていきます。
- 全校児童で歌詞を考え、50周年記念歌『ありがとう十二小』を作りました。子どもたちの想いがたくさん詰まった素敵な歌が完成しました。
- 校内研究の研究主題は、「大好き！みんなの十二小～感謝と未来へつなぐ子どもたち～」です。教職員が一丸となって、開校50周年に向けて取り組んでいきます。

水曜日の午前を5時間授業、6校時を「十二小タイム」に設定し、基礎・基本を主眼に、「東京ベーシックドリル」や補充学習を行い、木曜日の朝に「朝学タイム」を設け、補充的学習、発展的学習、学級活動、学年集会等を行います。児童の学習課題に即した教育活動を行っています。

※朝の時間：8:25～8:45（8:40）特別時程を除く

平常時程		特別時程	
登校	8:10～8:15	登校	8:10～8:15
朝	総合・オリパラ集会前・集会後 読書マラソン後 朝学タイム前	朝	朝の会
第1校時	8:50～9:35	第1校時	8:25～9:10
第2校時	9:40～10:25	第2校時	9:15～10:00
中休み	10:25～10:40	第3校時	10:05～10:50
第3校時	10:45～11:30	第4校時	10:55～11:40
第4校時	11:35～12:20	第5校時	11:45～12:30
給食	12:20～13:00	給食	12:30～13:10
清掃・ふり返り	13:00～13:20	清掃	なし
昼休み	13:20～13:40	昼休み	13:10～13:25
第5校時	13:45～14:30	十二小タイム	13:30～14:15
第6校時	(月)木(金) 14:35～15:20 火(火)クラブ・委員会 14:40～15:40		

— 特別支援学級 —

「けやき学級」(知的固定学級)

■ 教育目標

- 基本的な生活習慣を確実に身につけ、自立心を育てる。
- 互いに助け合い、思いやる豊かな心を育てる。
- ねばり強く最後までやり通す気持ちを育てる。

■ 基本方針

- 直接経験を重視し、身の回りのことを処理する力を育てる。
- 学校生活支援シート・個別指導計画を作成し、基礎的学力を養う。
- タブレットPCを活用し、視覚化することでイメージや見通しをもって学習に取り組めるようにする。
- 友達と協力・協調して作業する楽しさを味わわせ、働く喜びを体験させる。
- 通常の学級児童とふれあう機会と場を多様に設定し、児童相互の交流と理解を深める。



特別活動の充実

自尊感情や
ボランティア精神を
高めます



- 「十二小学級会スタイル」をもとに話し合い活動を充実させ、一人一人の思いを大切に、自他の良さに気づき、認め、励まし合い、高め合う児童の育成を図ります。
- 「青少年赤十字加盟校」としての取組を進め、「気づき、考え、実行する」態度の育成を図り、ボランティア精神を高めます。
- 「五中校区児童会・生徒会サミット」を実施し、近隣小中学校の連携も図っています。

特別支援教育の推進

児童一人一人に寄り添う
教育を目指します



- 児童一人一人への支援体制の充実を図り、特別支援教育コーディネーターを4名配置し、組織的な対応の強化に努めています。
- こだいら共通プログラムの「こだいらこれだけは」に基づいて、特別支援教育の視点から、教育環境の改善・充実を図っています。〔例〕ホワイトボードを活用し学習に見通しをもたせる。前面掲示を廃し板書に集中させる。〕
- 在籍校における支援体制の整備を進め、小平第六小学校(拠点校)と連携した特別支援教室を開設しています。

開かれた学校づくり

保護者・地域と協同する
学校を目指します



- 保護者・地域のもつ教育力を生かした授業の展開や事業の推進、地域行事への参加等を通して、地域に根ざした学校として、児童に「ふるさとこだいら」の心をはぐくませます。
- 学校公開のアンケート等、いただいたご意見・ご感想を参考に、全教職員で知恵を出し合い、よりよい学校を目指していきます。